

平成20年度採択

プレ戦略イニシアティブ

<分野> 人文科学

 筑波大学 *University of Tsukuba*



筑波大学  
研究戦略イニシアティブ推進機構  
Organization for the Support and Development  
of Strategic Initiatives

**拠点名称**：A.R.T.の構築—筑波大学におけるアート・リソースの戦略的ディスプレイと活用

**拠点代表者**：人間総合科学研究科・教授・五十殿 利治

### 拠点形成活動の概要

本学には総合交流会館の多目的ホールをはじめ、さまざまな規模の美術展示スペースがあり、石井コレクションの古美術品から学群学生作品の展示、中国美術学院との交流展まで、展示作品の内容に応じて、スペースを活用可能である。また、県立つくば美術館と良好な地域連携の環境が整っている。本学においては中小規模の施設中心の環境と美術関連コレクションをアート・リソースとして活用し、戦略的なディスプレイを具体化し、地域貢献とともに、研究教育での効率的運用を図ることを目指す。そのため、これまでの研究活動実績に基づく、芸術組織を横断した研究拠点を拡充し、大学WEBのトップページに拠点WEB「A. R. T.」（Art Resources in Tsukuba）を立ち上げ、大学内の美術情報（将来的には全国大学）を一元的に示すことで、情報発信されず死蔵されがちな資料を、利用しやすいリソースとして提示する。ハードウェアに依拠しない大学ミュージアム研究は、大規模なミュージアム施設を持たない数多くの国内大学に対して、多様な展示空間を統括するためのモデルを提示する。アート・リソース・ネット構築により、他大学をリードする拠点を形成する。

### 拠点形成に係る研究活動の概要

- 1) WEB等の情報デザイン：WEBSITEの充実をはかる。とくに大学キャンパス内の芸術作品を紹介する「アートツアー」のコンテンツをさらに拡張し、作品のみならず、建物や景観を紹介するツアーの可能性も探る。また芸術組織における活動状況を絶えず学内外にむけて発信することに努める。
- 2) 教育活動（地域貢献活動）
  - ・学生作品の国内外での公開：中国美術学院、シドニー美術大学での作品展示
- 3) 研究活動
  - ・海外事例の研究（メルボルン大学、シドニー大学等）
  - ・石井コレクションの研究とアーカイブ化（1月開催の瑛九関連シンポジウム、3月開催予定の瑛九作品の特別展示）
- 4) 講評会の実施と研究報告書
  - ・学内外の委員による講評会を実施するとともに、研究報告書を発行して、広く研究成果を発信する。
- 5) 拠点形成計画
  - ・実施組織を核とし、「筑波大学アート&デザインポリシー」を策定して、これを他組織と連携した文化ポリシーにまで拡大することを目指す。
  - ・東アジア（中国、台湾、韓国）の芸術系大学との連携を強化して、芸術の教育研究活動の学外発信力を拡張するために、講演会・セミナー等により交流を積極的に進める。
  - ・体育ギャラリーとの連携により学内での活動の展開（11月14日開催の「美術とスポーツをめぐる研究集会」ならびに次年度展覧会計画の策定）